

豊洲三丁目熱供給施設

建物諸元(2021年12月現在)

所在	江東区豊洲 3-1-1
主用途	熱供給設備
敷地面積	3,836 m ²
延床面積	—
階数	地下2階
竣工年月	2006年2月
事業者・所有者	豊洲エネルギーサービス株式会社
設計会社	新菱冷熱工業(株)
施工会社	新菱冷熱工業(株)
管理会社	—
URL	—
テナント数	熱供給施設の為、テナントはなし

主な評価項目

I 一般管理事項

毎月、CO₂削減推進会議を開催し、省エネルギーに対する協議・計画・実施・検討を行う。

II 建物、設備性能に関する事項

高効率熱源、高効率コージェネレーションを導入。

III 運用に関する事項

当事業所は熱供給施設である為、CO₂排出量の増減は需要家の冷熱販売量に大きく影響されるが、様々な冷熱源機器の運用によるCO₂排出量の低減に積極的に取り組んでいる。

事業所の概要

当事業所はIHIグループの1つとして需要家に冷熱源を供給している熱供給設備である。
冷熱は吸収式冷凍機4台、氷蓄熱設備2台で運用し、蒸気は炉筒ボイラ2台、貫流ボイラ3台で運用している。
又、CGS設備を設置しガスタービン発電機で需要家に発電、排熱ボイラで蒸気を製造し運用している。

事業所における環境負荷低減の取組

・コージェネレーションシステムの導入

ガスタービン発電機で需要家に売電。つまり自ら生成した電力を供給し、CO₂排出量の削減に取り組んでいる。

・リアルタイム監視によるエネルギー管理

1 エネルギー使用状況の把握

毎月、各データを集計・整理し各機器の効率と原単位を確認し各所員に現況を周知させる。

2 温暖化対策の進行状況の把握

毎月、対策の進行状況を各所員に知らせ、継続的に温暖化対策に対する意識の向上を図る一方、常に改善を心掛けるよう呼びかける。

事業所外観写真



取組のイメージ図

